

写真撮影の手引き [JAS構造材]

事業説明書「施工写真の撮影」の内容も踏まえ、「JAS構造材の種類」に応じて撮影して下さい。

発注明細書（最終見積）、その内容が図示された図面と照合しながら、「JAS構造材かどうか」、「指定された部位に使われているか」、使われている場合には「JAS構造材の種類は何か」を確認しながら、下記の時点①～④および内容で撮影すること。

① 荷受・検収写真 JAS構造材が、建設現場で荷受けされた時（黒板あり）

※ 検収ごと（トラック搬入の場合はトラックごと）に撮影

確認および 黒板記入	階、部材種ごとに「JAS構造材」か否か、数量などを確認してJAS構造材なら、「区分」と確認できた「JASの種類」を書く
---------------	---

② 施工写真 助成される各階の建て方の終了時（黒板あり）

[引いて撮る] ※ 部材種ごと、JAS構造材の種類ごとに写す
 ※ 助成材は、各完了時にも必ず撮影（合板、羽柄類も注意）

[アップで撮る] ※ JASマーク  と種類の表示を大きく鮮明に写す
 ※ CLTは、構造用金物の接合部も撮影する

確認および 黒板記入	「JAS構造材」が階、指定部材に使われていることを確認してJAS構造材なら、「区分」と確認できた「JASの種類」を書く
---------------	---

※ 木材加工等によって、JASマークがやむを得ず確認できない製品については、様式6号別添3の「JAS製品であることの証書」を提出する必要がある。

③ 内観写真 助成される各階の建て方の終了時（黒板なし）

※ JAS材の施工状態も含めて、各階の全体像がわかるように写す

④ 外観写真 建て方 完了時（黒板あり、なし）

※ 建物の全景を「2方向」から、一面は足場シートを開けて

黒板記入	・撮影面（東面、道路面など） ・何階建、棟など
------	-------------------------

黒板に記入する事項

ア) 工事名	事業申請書「物件の名称」の通り
イ) 撮影日時	令和5年〇月〇日
ウ) 部材名称	部材種：土台、柱、梁・桁、トラス、床、壁、屋根、横架材などの別 確認できたJAS構造材の「区分」、「種類」を明記する

※ 上記の他に必要があれば、書き加えて下さい。（強度、含水率、樹種など）
 内観・外観では、場所と撮影方向などが判るように書いて下さい。

※ JAS構造材、JASマークの写真が撮られていない等、JAS構造材が使われたことが確認できない木材は、助成できません。

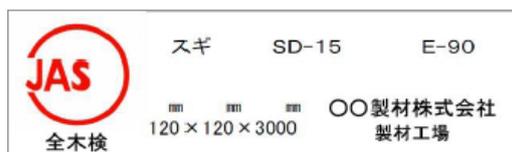
※ 写真は手引き通りに撮影して、記録データはしっかりと保存・管理して下さい。
書類提出後に追加で、写真の提出を求める場合があります。

・対象「区分」とは	「JAS構造材」か「対象外」のどちらか
・JAS構造材の「種類」	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機械等級構造用製材 (目視等級製材 乾燥材)*注2 2. 枠組壁工法構造用製材 3. 構造用集成材 4. 構造用単板積層材 (構造用LVL) 5. 直交集成板 (CLT) <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 6. 構造用合板 7. 構造用パネル (OSB)

*注2：目視等級製材 乾燥材は、機械等級製材が指定構造部に使われた建物で助成

・JASマークの参考例 (全国木材検査・研究協会、日本合板検査会のHPより)

機械等級構造用製材



目視等級製材 乾燥材



枠組壁工法構造用製材



構造用集成材



構造用LVL



構造用合板



OSB



※ JAS法に基づき、登録認証機関の認証を受けた製造業者等が、自ら製造等する製品についてJAS規格に適合するか検査・格付を行い、適合する製品にJASマークを印字・貼付して出荷できる。

施工写真書類の作成

※ 「写真貼付シート (荷受・検収～外観)」を使い、各時点の内容を作成し印刷の上、提出する。
なおシート右側、記入欄には、工事黒板の通りを選択、転記して下さい。

※ 各階で「部材種ごと」、「JASの種類ごと」に「JAS構造材」が使われていることが確認できるように、必要かつ的確な内容で作成して下さい。

提出写真は、助成木材が判別でき、鮮明に写っているものを選んで下さい。

① 荷受・検収写真 (黒板あり)

- ・ 検収ごとに
(トラック搬入ごと)
- ・ シートを外し
木材が見えるように
- ・ 使用階ごと
部材種、JAS種類ごとに



② 施工写真 (黒板あり)

[引いて撮る]

- ・ 各階ごとに
組み上がり状況の全体
- ・ 部材種ごと
JAS種類ごとに



[アップで撮る]

- ・ JAS種類ごとに
JASマーク(印字/シール)と
製品情報を拡大
(強度・寸法・樹種など読み取れる)
- ※ CLTは金物接合部も撮影
- ※ **プレカット工場**で印字される
現場名、通り記号は
JAS表示ではありません。



③ 内観写真（黒板なし）

- ・助成階の建て方完了時
- ・階ごとに
全体が判るように
- ・JASマークも
できるだけ写るように



④ 外観写真（黒板あり、なし）

- ・全体の建て方完了時
- ・1面はシートを開けて
規模・階数が判るように
- ・違うアングルで全体を
2枚以上



※ **建て方完了後**に、床・壁・屋根などの下地材や合板類の**JAS助成木材**が**施工**されるとき
→ それぞれのJAS材の**施工が完了した時点**でも、②～④の写真を撮る。

※ 下記のJAS種類で特に、**JAS印の確認**ができていない、または認識違いが見受けられます。
助成できなくなる場合もありますので、よく調べて撮影して下さい。

機械等級構造用製材



目視等級製材 乾燥材



枠組壁工法構造用製材



保存処理材



※JASマークと一緒に印字された「強度」、「等級」、「乾燥材」、「保存処理性能区分」の表記も撮影する。